ミニ気象台観測データ月報

令和 5 年 12 月

さいたま市青少年宇宙科学館

	曜	天 気	最多風向	風	風 速		気 温			고 나		77; 14-	平均	
目				最大	平均	9時	最高	最低	平均	平均湿度	降水量	平均 気圧	地温 -1m	記事
1	金	$\bigcirc \bigcirc$	N	7.8	0.6	6. 5	12. 1	5. 0	7. 5	48. 9	0.0	1013.3	15. 0	1日:世界気象機構(WMO)は、11月30日、今年の世界平均 気温は産業革命前と比べて1.4℃上昇し、174年間の観
2	土	OOO	N	4. 7	0.5	6. 7	13. 7	2.9	7. 7	56. 1	0.0	1016. 4	14.8	測史上で最も暑い年になるとの見通しを発表した。 2日:気象庁は1日、近秋(9月~11月)の日本の平均気温が 平年比十1.39℃で、1898年の統計開始以降の最高を記 録したと発表した。
3	日	000	NNE	10.0	1.0	5. 7	15.8	2.0	8. 1	54. 9	0.0	1016.5	14. 6	
4	月	000	N	6. 9	0.8	7. 9	14. 9	3. 9	8.8	48.0	0.0	1019.0	14. 4	3日:北海道各地で1日夜、オーロラが観測された。陸別町の 「銀河の森天文台」からは2003年10月以来20年ぶりに肉
5	火	\bigcirc	N	5. 4	0.5	6.0	10.3	3. 9	7. 1	58.6	1.0	1017.5	14. 3	・ 銀行が赤人と口がからないので10万の木の中からに内 眼で確認された。、フィリビン付近で地震が発生し、 3日に日本の太平洋側各地で最大40cmの津波が観測された。地震の規模はマグニチュード7.7. 震源はミンダナ オ島付近。震源の深さは32.8kmであった。 6日:宇宙航空研究開発機構(JAXA)は5日、月面探査機 「SLIM」が来年1月20日未明に月面着陸する見通しだと 発表した。
6	水	О Ө	NNE	6.6	1.2	11.0	17.4	7. 1	11.7	66. 4	1.0	1009.8	14. 1	
7	木	Θ	N	13.8	1.7	10.3	20.5	6.5	12.3	55. 5	0.0	1004.8	14. 1	
8	金	000	SSW	8.3	0.9	11.3	19.0	6.4	12.6	41.4	0.0	1017.0	14. 1	
9	土	\circ	NNE	4.2	0.4	10.6	19.3	6.3	11.9	54. 9	0.0	1017. 9	14. 1	
10	日	00	NNE	4.9	0.4	11.0	21.3	6.2	12.9	56. 4	0.0	1019.4	14. 1	
11	月	$\bigcirc\bigcirc$	NNE	6.3	1.2	12.0	14.9	10.7	12.7	67.6	0.0	1020.8	14. 2	15日: 気象庁は11日、南米ペルー沖の海面水温が高くなる 「エルニーニョ現象」が来年4月まで続く可能性が50%
12	火	$\bigcirc \bigcirc$	N	9. 1	1.3	10.2	17. 1	9.4	12. 4	77.6	11.0	1008.5	14. 3	だと発表した。 4時頃にふたご座流星群が極大。 17日: 日本列島は16日、南海上から暖かい空気が流れ込んだ影響で、関東や東海の太平洋側を中心に最高気温25℃以上の夏日を観測するなど、季節外れの暖かさとなった。千葉県境を光町で26.0℃、神奈川県小田原市で26.0℃となった。 18日: 北海道の日本海側から北陸にかけては、17日から雪の降り方が強まり、積雪が急増している所がある。北海道留萌市幌糠(ほろぬか)では、12時間降雪量が60cm(午前9時まで)、24時間降雪量が76cm(午前9時まで)と時での最多記録を更新し、記録的な大雪となった。午前9時現在の積雪の深さは、140cm。
13	水	00	NNW	9.7	2.0	11.0	15.6	8.4	11.5	40.5	0.0	1021.8	14. 3	
14	木	$\Phi\Phi\Phi$	NNE	5. 7	0.8	6. 4	14. 5	4.8	9.6	55. 2	0.0	1025.3	14. 3	
15	金	$\bigcirc\bigcirc\bigcirc$	N	5. 1	0.6	9.0	13.4	7.6	10.4	64.6	0.5	1013. 2	14. 1	
16	土	$\bigcirc \bigcirc$	N	10.5	1.4	12. 2	21.2	8.7	15. 2	69. 5	0.0	1002. 2	14.0	
17	日	<u>Φ</u> ΦΦ	N	13.6	3.3	10.8	17.4	5. 1	10.9	31.5	0.0	1008.2	14.0	
18	月	$\oplus \oplus \oplus$	N	10.0	1.6	5. 1	11.7	3.2	6. 7	31. 9	0.0	1021.3	14. 1	
19	火	$\bigcirc \bigcirc$	NNE	4.9	0.5	4.6	10.7	2.5	6.0	50.0	0.0	1021.4	13. 9	
20	水	<u>ΦΦΦ</u>	N	4.3	0.4	7.0	14.7	3. 7	8.3	48.5	0.0	1009.8	13.6	
21	木	$\Phi\Phi\Phi$	NNW	10.8	1.2	6.4	14.0	2.2	7. 3	41.6	0.0	1009.1	13. 3	22日: 気象庁は、令和5年の天候のまとめ(速報)を発表し、 日本の年平均気温及び日本近海の平均海面水温はい
22	金	ΦΦΦ	NNW	10.9	1.3	3.6	10.6	1.0	5. 2	33.6	0.0	1015.8	13. 2	ずれも、これまでの1位の記録を大きく上回って総計開始以降最も高い値となる見込みであると発表した。また、世界の年平均気温も、これまでの1位の記録を大きく上回って総計開始以降最も高い値となる見込み。 23日:日本列島に強い実気が流れ込み、23日も北陸など大雪の影響が続いた。3万川県輪島市で23日午前7時までの48時間の降雪量が観測史上最多の60cmを記録した。 25日:北海道美唄(びばい)市は、午前8時までの最低気温が-24.6でと、今シーズンの最低気温を更新した。 26日・沙刄マスにかけての寒疲の影響で、北陸や北海道では記録的な大雪になった所があった。26日午前8時現在の積雪の深さは、青海県八甲田山系の酸ヶ湯で159cm、北海道留前市幌糠低5みぬかで145cm。27日:宇宙航研究開発機構(JAXA)は28日、国産新型のH3ロケット2号機を来年2月15日に種子島宇宙センター(鹿児島県)から打ち上に電子島宇宙センター(鹿児島県)から打ち上げると発表した。
23	土	000	N	5.2	0.6	3. 3	11.3	-0.1	5. 3	39. 4	0.0	1024.6	13.0	
24	日	Φ	N	5.4	0.5	2.6	9.2	0.5	3. 9	51.2	0.0	1025. 1	12.7	
25	月	<u> </u>	NNE	5.3	0.5	2. 3	12.7	-0.9	5. 2	53. 3	0.0	1019.3	12.5	
26	火	000	N	8.8	1.0	6. 4	14.6	2.3	8.0	48.7	0.0	1020.1	12. 3	
27	水	$\Phi\Phi$	NNW	10.0	2. 1	9.2	12.8	5.0	8.6	42.5	0.0	1023. 2	12.2	
28	木	000	N	6.6	0.9	4.3	10.8	3. 5	6.6	48.4	0.0	1023.7	12.2	
29	金	Θ	NNE	4.7	0.4	4.4	15.8	1.1	7.8	53. 7	0.0	1019. 1	12. 1	
30	土	(O) (O) (O)	NNE	6.0	0.8	5. 5	15.6	2.8	8.6	56. 0	0.0	1018.3	12. 1	
31	日	$\bigcirc \bigcirc \bigcirc$	NNE	6.4	0.7	6.0	14. 7	5. 5	9. 2	66. 7	0.5	1005. 2	12. 1	
月	間	/	N	13.8	/	/	21.3	-0.9	/	/	14.0	/	/	【二十四節気・雑節】
平	均	/	/	7.5	1.0	7.4	14.8	4.4	9.0	52.0	/	1016. 4	13.6	12月 7日 大雪 太陽黄経255°
F		の同月の 1との差	/	/	0.2	1. 4	2.3	1.6	1. 7	-2.6	-25. 5	3. 4	1.0	雪がいよいよ降り積もってくるという意味。 12月22日 冬至 太陽黄経270° 昼が一年中で一番短くなるという意味。
開館		来の同月の Iとの差	/	/	-0.8	1. 1	2.6	1. 4	1. 9	-3.9	-36.8	0. 5	1. 0	

みぞれ: ♥ にわか雨: ●= 霧: ● 霧雨: ●+ 雨強: ●x

・ (単位) 風速 (m/sec)、気温(℃)、降水量(mm)、湿度(%)、気圧(hPa)、地温(℃)

説明: 「天気」は、主に朝から夕方までの空もようです。

「月間」欄には、当月における最も多かった風向き、最大風力、最高気温、最低気温、積算の降水量を記載しています。

「平均」欄には、当月における観測値の平均を記載しています。

「最高気温」「最低気温」は、日最高気温、日最低気温です(日界は0時)。

「開館以来」とは、平成元年6月以来のことです。

「猛暑日」「真夏日」「夏日」とは、それぞれ一日の最高気温が35℃以上、30℃以上、25℃以上の日のことを言います。

「真冬日」「冬日」とは、それぞれ一日の最高気温が0℃未満、最低気温が0℃未満の日のことを言います。

※ この観測データは、気象業務法に定められている気象観測の対象外の観測となりますので、ご注意ください。